

編集後記

今回のテーマは、透析患者のリハビリテーションである。取り上げた項目としては、大腿骨近位部骨折、脳卒中、心臓手術後、人工呼吸器管理、慢性閉塞性肺疾患、末梢動脈疾患へのリハビリテーションと口腔ケアであり、透析患者への対応を中心に執筆していただいた。さらに、透析施設での取り組み、栄養介入、生活支援、地域完結型医療についても紹介している。

入院時またはリハビリテーション開始時における日常生活活動度（ADL）は、リハビリテーションの効果に影響する。とくに、サルコペニア・フレイルは手術後の予後に影響することが明らかになっている。昨年末、「サルコペニア診療ガイドライン 2017 年版」が発刊された。それによると、

サルコペニアを有する人への運動介入は、四肢骨格筋、膝伸展筋力、通常歩行速度、最大歩行速度の改善効果があり、推奨されている。同様に、アミノ酸を中心とする栄養介入は膝伸展筋力の改善効果があるため、推奨されている。したがって、リハビリテーションの運動効果をあげるためには、栄養面からの介入も重要となる。

米国の報告では、透析患者が冠動脈バイパス術後に心臓リハビリテーションを行うと、生存年あたり \$ 13,887 の増分費用効果比があった（Kidney Int. 2008 ; 74 : 1079-1084）。本邦の透析患者におけるリハビリテーションについても、費用対効果の現況について、再検証が必要と思われる。

（加藤明彦）

2018 年 (Vol. 34) 特集のご案内

No.① 透析患者のがん対策

No.② 透析患者のリハビリテーション
— 訓練と支援

No. 3 キュアとケアをつなぐナーシング

スキル

No. 4 求められる透析液清浄化—改訂された
透析液水質基準の意味するところ

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.34 No.2

© 2018 年 2 月 10 日発行
定価：（本体 2,400 円＋税）

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.co.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541